

## 道の駅と大学

提供学科：観光学科

### ◎ 目的

本プロジェクトは、東金市役所（以降、東金市）や九十九里地域観光連盟と連携し、道の駅の利点を活かした観光振興に寄与するプログラムづくり（（１）地域のネットワークを構築すること、（２）地域経済に寄与する観光について検討すること、（３）通年観光に寄与する地域の仕事を生み出すこと）を実施しています。

本年度は、九十九里地域観光連盟の依頼を受け、九十九里町片貝海岸で行われた自転車のイベント参加者に山武郡市を知ってもらうためのコースづくりとそのコース上に設けるエイドステーションの運営を実施しました。



### ◎ 実施内容

- ・道の駅・みのりの郷東金の視察、及び、地域の資源調査
- ・千葉県館山市におけるスモールモビリティに関わる取り組み調査
  - ①館山市内でのレンタサイクル試乗体験
  - ②ダークツーリズムに関わる取り組み調査
  - ③東京大学の取り組みに関わる講演を拝聴（グリスロによる地域観光）
  - ④JRバス関東の取り組み視察
- ・東武トップツアーズのサイクルツーリズムイベント支援に関する取り組みについて対面インタビュー実施
- ・九十九里地域観光連盟と連携した山武郡市の魅力をつなぐコースの作成
- ・Beach flow ride のためのコースづくりとエイドステーションの企画運営



### ◎ 学びの効果

本プロジェクトに参加した学生が、地域の観光に寄与するインフラづくりを行政の方々と共に検討できたことは、学生にとって非常に貴重な学びの機会となりました。とりわけ本年度の企画を通じて、学生たちは地域に眠る観光資源を掘り起こし、それらを行政の方々をはじめ地域の担い手や観光客に対して、魅力ある情報として整理・共有できたのではないかと考えます。さらに学生たちは、調査能力や情報伝達能力を身につけただけでなく、発見した観光資源を「社会的に価値ある企画」へと昇華させるために試行錯誤を重ねました。その過程で、企画を一過性の取り組みで終わらせず、継続可能な“生業”として成立させるための方法を構築しようとした点に、本プロジェクトの重要な成果があると捉えています。